

2017年5月15日

4種関係各チーム並びに全審判員の皆様へ

審判部長 並木克之

競技規則に関する解釈修正と新たな情報について（通達）

次のことについて、以前にお知らせした解釈が変更されたり、新たに決定されたりした事柄がありますので、通達します。

各チーム関係者並びに審判員におかれましては、規則の解釈と適用に当たって、誤りの無いようお願いいたします。

1 「PK戦」におけるキッカーの不正なフェイントへの対応

このことについては、2013年4月30日付で通達しましたが、2016年の競技規則改正において、対応の方法が確認できましたので、次のように修正します。

<修正部分>

キッカーが不正なフェイントをしてキックを行った場合、

ボールがゴールに入る入らないにかかわらず、

キッカーは警告される。

キックは無効となる。（入ったとしても得点にはならず、失敗したとみなす。）

***当然、キックのやり直しは行わない。**

*このキックの際に、GKがゴールラインを離れる違反が同時に起きても、上記の解釈は変わらないので、ご注意ください。

2 キックオフ時の、相手ハーフ内への侵入についての対応（最新情報）

昨年、県内各地域で競技規則の改正についての伝達講習会を行った際に、並木がお伝えしたことが、その後の確認で次のように解釈され運用されることが分かりました。（昨年の伝達講習会時にお話したことは、JFAの競技規則部会の確認を得てのものでしたが、今後は次のように適用してください。）なお、このことについては、後日、JFAから通達が出されるとのことです。

キックオフ時に、相手のハーフ内への侵入（進入）が認められるのはキッカーのみである。他の競技者については、一切認められない。 （片足が自陣のハーフ内に残っていたとしても、もう一方の足が相手陣内に入っていることは違反とみなす。）

3 8人制サッカーにおける「PK戦」で退場者が出た場合の対応（最新情報）

退場者の補充は、正規の試合中（前半・後半）と同様に行うことができる。

ただし、補充される競技者は、「既に1巡目のキックを終了している」ものとみなす。

以上となります。

疑問や不明な点がありましたら、並木までお問い合わせください。